

地理歴史科「歴史総合」学習指導案
単元名「国際協調と大衆社会の広がり」

令和6年10月 第1～3年次 指導者 新井 悠子

I 単元の構想

1 単元観

本単元は必修科目「歴史総合」の「C国際秩序の変化や大衆化と私たち」（2）に位置し、第一次世界大戦後の国際社会や大衆社会の出現について学習する。この単元は、大戦後の国際協調体制の構築とともに、アメリカの台頭や大量生産・大量消費社会等現代社会につながる点で重要である。また、国際協調体制が二度目の世界大戦を防げなかつたことについても考察させ、次の単元の学習につなげたいと考えている。資料読解の際は、生徒には当時の人々の立場、現代の私たちから見た立場など多角的な視点を持たせ、歴史的な見方・考え方を身に付けさせたい。

2 研究との関わり

研究主題は「歴史学習において、自己有用感を高め、深い学びを実現するための地理歴史科授業の工夫」とし、①スマールステップを意識した資料読解と、②スマールステップを意識した協働作業を主な手立てとして実施する。まず、生徒には資料を読み取らせる際にステップを設定する。段階的に読解の難易度を上げていくことで、生徒は歴史的な見方・考え方を身に付け、達成感を得ることができる。

また、ペアワークから複数人でのグループワーク、クラス全体での発表と協働作業の段階を踏むことで、生徒のコミュニケーションへの苦手意識の払拭と、意見共有による学習の深まりが期待される。以上の手立てを用いて、達成感や他者との対話から自信を獲得し、学習を深め、「もっと学びたい」「次も挑戦してみたい」と意欲的に物事に取り組む生徒を育成したい。

3 単元（題材）の目標及び生徒の実態

	目標	生徒の実態
知識及び技能	・第一次世界大戦後の国際協調体制と、大衆社会の形成、社会運動の広がりについて、理解する。	・本文を読んでワークシートの穴埋めをすることはできるが、理解が不足している面がある。 ・一人で資料を読み取り、理解することは難しい。
思考力、判断力、表現力等	・第一次世界大戦後の国際協調体制及び大衆社会の形成について、現代社会との関わりやその後の世界への影響を考察し、自分の考えを表現する。	・歴史的事象について、その背景や他事象を関連させた考察は難しい。 ・ヒントや選択肢を与えることで、考察や表現ができる。
学びに向かう力、人間性等	・第一次世界大戦後の国際協調体制及び大衆社会の形成が、その後の世界に与えた影響と課題に気付き、現代とのつながりについて考える。	・学習内容を自分ごととして捉えることが難しい。 ・平易な表現の使用や机間支援することで、課題に気付くことができる。

4 評価規準（B評価）

知識・技能	・第一次世界大戦後の国際協調体制と、大衆社会の形成、社会運動の広がりについて、理解することができる。
思考・判断・表現	・第一次世界大戦後の国際協調体制及び大衆社会の形成について、現代社会との関わりやその後の世界への影響を考察し、自分の考えを表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・第一次世界大戦後の国際協調体制及び大衆社会の形成が、その後の世界に与えた影響と課題に気付き、現代とのつながりについて考えることができる。

5 指導及び評価、I C T活用の計画（全5時間：本時第2時）

過程	時間	■ねらい □学習活動 ★ I C T活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目<方法（観点）> ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
つかむ	1・2 (本時)	<p>■単元をつらぬく問い合わせ踏まえ、ヴェルサイユ体制を理解し、資料から読み取った問題点を表現できるようにする。</p> <p>□資料を読み、ヴェルサイユ体制の問題点を考察し共有する。（★）</p>	○	○		<p>◆国際連盟、ヴェルサイユ条約、人種平等案それぞれの特徴から、ヴェルサイユ体制の問題点を読み取り、表現できる。</p> <p><観察・ワークシート（知・態）></p>
		<p>[単元をつらぬく問い合わせ]</p> <p>第二次世界大戦につながる出来事はどこに見いだせるだろうか？</p>				
		<p>[本時の問い合わせ]</p> <p>ヴェルサイユ体制の問題点はどのような点だろうか？</p>				
追究する	3	<p>■大戦後の東アジアの状況を理解し、特にワシントン体制による日本への影響を読み取れるようにする。</p> <p>□ワシントン体制の特徴から、日本への影響を考察し共有する。（★）</p>	●	○		<p>◆大戦後の東アジアの状況について、日本への影響を読み取り、表現できる。</p> <p><観察・ワークシート（知・思）></p>
		<p>[本時の問い合わせ]</p> <p>当時の日本人々は、ワシントン体制をどのように受け止めただろうか？</p>				
	4	<p>■戦後ヨーロッパの復興、大衆の政治参加、大衆社会の形成について理解し、大衆化について表現できるようにする。</p> <p>□複数の資料を読み、大衆社会について考察し、表現する。</p>	●	○		<p>◆大衆社会について理解し、現代とのつながりや、よい点・よくない点について表現できる。</p> <p><観察・ワークシート（知・思）></p>
		<p>[本時の問い合わせ]</p> <p>大衆化は、どのように定義できるだろうか？</p>				
まとめ	5	<p>■単元をつらぬく問い合わせに解答し、本単元の学習内容を理解できるようにする。</p> <p>□学習を振り返り、OPPシートを完成させる。</p>	●	●		<p>◆単元をつらぬく問い合わせに対して、学習内容を踏まえて考察し、表現できる。</p> <p><ポートフォリオ（思・態）></p>

II 第2時の学習

1 ねらい ペアワークによる資料読解とグループワークによる意見共有・発表を通して、ヴェルサイユ体制について多角的に考察し、自分の言葉で表現できるようにする。

2 展 開

主な学習活動 予想される生徒の反応〔S〕 ★ I C T 活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
1 本時のめあてをつかむ。 (導入 2 分) S : この時間はペアで読んだ資料を別のペアと共有してまとめ、他のグループの発表を聞いて、本時の課題に答えるのだな。	○生徒が本時の活動の見通しがもてるよう、ワークシートを確認させる。
<p>[本時の問い合わせ]</p> <p>ヴェルサイユ体制の問題点はどのような点だろうか？</p>	
2 同じ資料を読んだペアとグループになり、それぞれの考えを共有する。その後、グループとしての解答を作成し、オンラインデザインツール ^{※1} で発表できる準備をする。(★) (展開①15 分) S : 資料を同じように読み取っているな。私たちの読み取りが合っていてうれしいな。 S : 別のペアの考えを聞いて、自分たちだけでは気付かない見方に気付けたな。両方の考えを盛り込んだ解答を作れるように相談しよう。	○生徒がすぐグループになれるよう促す。 ⑤生徒がスムーズに意見共有、解答作成ができるよう、資料読解のポイントや生徒自身が表現した言葉を組み合わせられるような言葉掛けを行う。 ◆相手に真摯に説明しようとしている。 ＜観察（態）＞ ◆それぞれの意見を尊重し、読解に沿った解答を作成しようとしている。 ＜観察・ワークシート（思）＞
3 グループごとに発表をする。発表を聞き、自分のワークシートを完成させる。 (展開②10 分) S : 問題点がきちんと伝わるように、大きな声で、この部分を強調して発表しよう。 S : 他のグループの資料はこんな風に読み取れるのだな。こんなことがあったら、たしかに当時の日本国民はいい気分じゃないんだろうな。	○役割分担をして発表するよう促す。 ⑥緊張感を和らげるため、発表者にはその場で発表させる。聞く生徒はスライドに注目させる。 ◆相手に真摯に説明しようとしている。 ＜観察（態）＞ ◆他グループの発表を真剣に聞き、ワークシートに記入している。 ＜観察・ワークシート（思）＞
4 3 の活動から本時の問い合わせについて考察し、オンライン意見共有ツール ^{※2} に入力する。入力したもの全体で共有し、自分とは異なる考えに気付く。(★) (展開③15 分) S : 自分の読んだ資料をメインにして解答を作つてみよう。 S : 協調といっても、この部分で協力できていなければ、また戦争が起きたんじゃないかな。 S : ドイツの戦争責任は、こんなに重たくする必要があったのかな。解答を作るために、この資料を参考にしよう。	○ループリックを示し、B評価を目指して表現できるよう助言する。 ⑦意見共有ツールを用いて全体共有し、A評価・B評価に該当する解答を共有し、気付けなかった生徒への気付きを促す。 ◆ループリックに沿って、自分の言葉で表現できている。 ＜意見共有ツール（思）＞

<p>5 ポートフォリオシートに振り返りを記入し、本時のまとめを行う。 (終末3分)</p>	<p>○手が止まっている生徒には、本時の学習を振り返りながら記入できるようワークシートを復習させる。</p> <p>◆単元をつらぬく問い合わせを見据えた記入ができる。</p> <p><ポートフォリオ(態)></p>
--	---

※1 Canva for Education (https://www.canva.com/ja_jp/education/)

※2 LearnWiz One (<https://learnwiz.one/>)

3 板書計画

<p>単元をつらぬく問い合わせ :</p> <p>第二次世界大戦につながる出来事はどこに見いだせるだろうか?</p> <p>本時の課題 :</p> <p>ヴェルサイユ体制の問題点はどのような点だろうか?</p>	<p>このあとの世界は、、、</p> <p>1929 世界恐慌</p> <p>1931 満州事変</p> <p>1934 ドイツでヒトラーが総統就任</p> <p>1935 ドイツの再軍備宣言</p> <p>1937 日本が中国と戦争開始</p> <p>1939 ドイツのポーランド侵攻 ⇒第二次世界大戦へ</p> <p>1941 日本の真珠湾攻撃 ⇒太平洋戦争へ</p>	<p>スクリーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の手順の提示 ・ループリックの提示 ・LearnWiz One の画面共有
---	--	---

III 備 考

1 本時の課題についての評価ループリック (思考力・判断力・表現力)

A	B	C
ヴェルサイユ体制の問題点について根拠を示して自分なりに考察し、単元をつらぬく問い合わせを踏まえて表現しようとしている。	ヴェルサイユ体制の問題点について根拠を示して自分なりに考察し、表現しようとしている。	ヴェルサイユ体制の問題点について根拠を示した考察と表現ができていない。